

ふかまちのまど

第170号 08年07月1日
発行元 深町町内会連合会
連絡所 63-3882

町内会連合会活動報告

町民運動会開催

体育部長 麓 正徳

五月二十五日(日)、深幼・小運動会と町民運動会が開催されました。当日は雨上がりのグラウンドの整備に早朝よりPTA、町内の皆様のご協力により準備が整い、深幼・小運動会が三〇分遅れで始まり、児童の力いっぱい競技、演技はとてすばらしいかったです。



午後より町民運動会を行い、小学生、PTA、町内の皆様と楽しくすごしました。十三種目中二種目を中止しましたが、なかでも小麦粉の中に入ったアメ食の競争と六年生による親子リレーは一段と声援が大きくなり大変盛り上がり種目でした。ご協力、応援を下さりありがとうございました。

第四回 市民ゲートボール大会に出場

ゲートボール担当 原 勇吉

六月十五日三原運動公園にて、深町男子チーム大会が開催され、深町男子チームはメンバー不足で欠場しました。深町男子チームも、深尚寿会チームのメンバーではチーム編成が出来ず、麓・松秋・天木さんに出場して貰い、何とか出場し奮戦しました。何とか出場し奮戦成績は次の通りです。



第一試合

深町8-11三原南部
昨年度優勝チームの三原南部、前半までは勝てると思つたが後半リズムに乗れず惜しくも敗退。

第二試合

深町11-17沼泉
第一試合同様リズムに乗れず敗退。暑いなか、皆で練習の甲斐もなく惜しくも二連敗。

総合順位三位まではほど遠く、深町チームがプレーした第二位です。五チーム中、四位で

深小だより

教育条件整備に努力

深小学校総括事務主任 坂本 久美子

はじめまして、四月の異動により、三原市立南方小学校から深小学校にお世話になりました。お話しを伺い、子どもたちの元気よく、お話しを伺い、子どもたちの成長が楽しみです。お話しを伺い、子どもたちの成長が楽しみです。



私はいつも職員室で事務の仕事をしていて、あまの子供たちとふれあうことがありません。子どもたちとふれあうことがありません。子どもたちとふれあうことがありません。

子どもをみんなで守りましよう



深小の子どもは、午後四時二十分頃、下校します。近づく、遠づく、みんなで見守りましよう。声かけをしましよう。

試合の成績は良く出来たが、欠場した事な参加出来たが、良木さんに出場して貰ったが、天木さんが出場して貰ったが、体験して貰ったが、お話しを伺い、子どもたちの成長が楽しみです。

サンライズ大池だより

サンライズ大池副施設長 金春 省三

はじめまして、五月から当施設に勤務しています。三月末までの三年間は市役所で保健福祉の事業に携り、皆様にはいろいろご協力頂き感謝しています。何分施設ご利用の皆様と直接お話するの初めてで、不慣れではあります。地域に根ざした楽しい施設を目指してまいりますので、よろしくお話しを伺い、子どもたちの成長が楽しみです。



七月の行事予定

- 一 介護予防教室
日時 七月十日(木) 午前十一時～十三時
場所 深町町民会館
対象 どなたでも参加できます
内容 ○「夏を乗り切る食生活を」
管理栄養士の話
昼食・ちらし寿司ほか
○介護予防体操
参加費 無料
※地域包括支援センターとの
いむと合同で開催します。
- 二 サンライズ大池夏祭り
日時 七月十九日(土)
午後五時三十分～七時
場所 当施設内
皆様のご来所を心からお待ちしております。
※飲み物・食べ物には有料につきご理解ください。



子ども会だより

太鼓踊りお披露目

子ども会会長 前田真治

五月二五日の町民運動会でお披露目しました深町太鼓踊りは、西本薫様、壮青会の皆様の指導を受け短時間の練習では有りませんが元気に踊ることが出来ました。

七月十九日(土)三菱ゆうわ会球技大会に、ソフトボールチームが参加します。部員十一名、チームワークで頑張ります。応援よろしくお話しを伺い、子どもたちの成長が楽しみです。

謹んでお悔やみ申し上げます

成末 吉枝様 八一歳
(上組 下成瀬講) 六月一日

深町各種団体七月行事予定

- ◆町内会連合会
- ▼市民グランドゴルフ大会 十三日
- ▼小学校・幼稚園
- ▼永井郁子絵本原画展参加 三日
- ▼英語活動 四日
- ▼廃品回収 六日
- ▼諸雑費集金・誕生会 七日
- ▼貯金日・集金日 十日
- ▼びよびよハウス 十日
- ▼体重測定 十一日
- ▼終業式・個人懇談・夏祭り 十八日
- ▼期末懇談会 十八日
- ▼水泳指導 二二～二五日
- ▼校内水泳記録会 二八日
- ▼如水館中学・高校
- ▼中学オープンスクール 六日
- ▼中・高オープンスクール 十二日
- ▼校内球技大会 十四日
- ▼終業式 十九日

町内会新規入会者紹介

森本 慎之様 (上組清国講)
※ハーベストの丘

展望席

今年も早くも半年経ちました。年を取ると足は遅くなりますが月日の経つのは年々速くなります。「老化は足(脚)から始まる」と言われています。廊下で転ぶのはどうもか現象だとか? 若いときから、今からでも足を鍛えておかないと、足はとても大切なものです。お年寄りが山や畑に出て働いたり、交通量の多い道路を歩いたり、旅行に出かけたりすると、その家族は心配が募ります。しかし、お年寄りの足を引張ったり、揚げ足を取ると、ひっくり返ります。お年寄りの手を引く張って元氣付けてあげないと、でも、もしかして大きなお世話かもしれませんか? とところで、「〇〇に足を向けて寝るとバチが当たる」とよく言われますが、それは「足は汚いから」という理由からです。「バチが当たる」というからには、神様や仏様が「足は汚い」と決めたのでしょうか。頭がないと足は動きませんが、足は黙々と重たい頭も体も運んでくれます。神様や仏様は、足も頭も同じように大事で、きれいで、愛おしく思っていて差別はしてないはずなんです。足は汚い所も歩くので、人の心が勝手に「足は汚い」と決め付けたのでは。脚下照顧、自分の足元を見つめ、日頃の「決め付け」「思い込み」「とらわれ」を振り返ってみたいと思えます。愛媛県砥部町の詩人・坂村真民さん(故人)の詩に、「尊いのは、足の裏である。足の裏から光が出る、そのような方こそ本当に偉い人である」とあります。

